

ZORRO ルーフカウル SYM RV125,200i 用

取扱説明書

取り扱いについてのお願い

■ワイパーの使用について

ゾロのスクリーンにはシリコン系ハードコートを施しており、ハードコートをしていないポリカーボネートに比べワイパーの使用による傷が付きにくくなっております。しかしながら、スクリーン表面が水に塗れていない状態でのワイパーの使用や、少雨時での必要以上のワイパーの使用はスクリーン表面のコーティング層を傷つける恐れがあります。スクリーンを長くご使用いただくために、ワイパーのスイッチはこまめに切り替えていただくことをお勧めします。

■スクリーンのお手入れについて

スクリーンの表面を洗浄することで撥水性が保てます。スクリーン、ワイパーブレードの砂埃、汚れは中性洗剤を使用して濡らしたタオル等で拭いてください。また、研磨剤の使用はコーティングが剥がれ本来の性能が損なわれるためお止めください。

■タイヤ空気圧について

タイヤ空気圧はルーフの振動に敏感に大きく影響します。操縦性に悪影響のない範囲でやや低めの設定をお勧めします。

■メンテナンス時のルーフ取り外し要領

整備などでルーフを外す場合はスクリーン下側4本、ルーフ上面の4本のウェルナットを外すことで右画像のようにフロントカウル、スクリーン、ワイパー、ルーフを一体で簡単に外すことができます。

(ワイパーコードのカプラーを忘れずに抜く)



※画像は他車種のもの

■ウェルナットに関して

ルーフカウルの取付に使用するウェルナットは、一度使用すると膨れて変形しますが、熱湯に漬けることである程度回復し、再利用できることがあります。また変形が残ったものでも、ビードワックスや洗剤などを少量付けることで差し込み易くなりますが、ある程度時間経過した場合、再利用できないことを考えて、脱着の際は事前に新しいウェルナットをご用意ください。(一つ ¥100で販売)

取付説明

必要工具

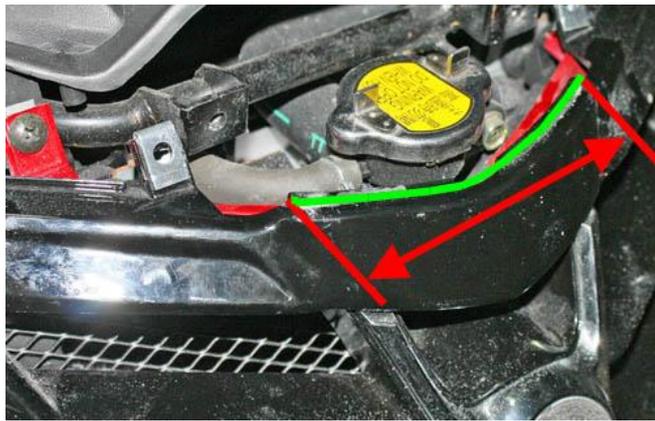
一般整備工具（ボックスレンチ、スパナ、ドライバー等）
ドリル（10mmキリの挿めるもの）、10mmキリ（一般鉄鋼用）、
内貼りはがしまたはプラスチックヘラ



1. 矢印のビス4本を外してスクリーン前のカバーを外す



2. 6本のビスを外してスクリーンを取る。



3. 緑の線の部分に付属のスポンジを張る。
こすれ音の防止のため。



4. スポンジを張った状態



5. スクリーンの取り付け穴を利用してフロントブラケットを取り付けるので、各穴が合うよう被せる。

6. ノーマルビスを使用して固定。 その際添付のゆるみ止め剤（青いペースト状）をネジ溝に塗っておく。

7. キャップボルトとレンチが一直線状ではボルトが雌ネジに対して斜めになってまともに入らないので**必ずボールポイントのレンチを使って下さい。**

特に一般の方が自身で取り付けの場合はネジが入ったことがはっきりするまで絶対に力を入れないよう慎重にネジの角度を探りながら回して下さい。ネジが斜めのまま少しでも力が入るとネ山の変形で後で幾ら角度を調整しても斜めにしか入らなくなります。

万が一斜めにねじ込んでしまった場合はボルトを新品に換えナット側はタップでネジを切りなおして下さい。



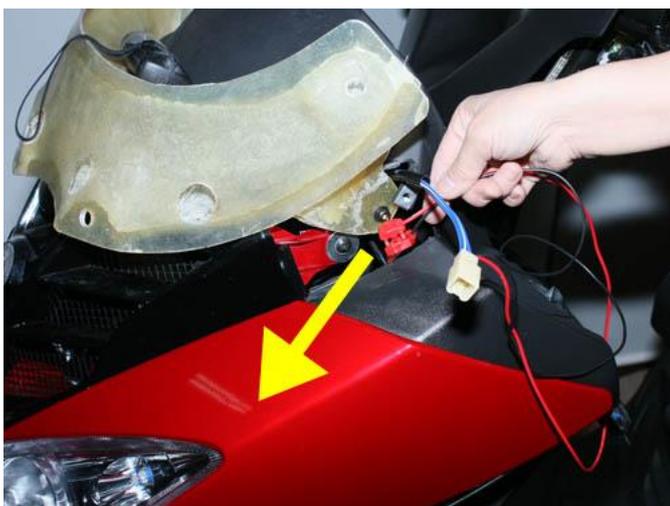
8. 2本のビスを取り左下ハンドルカバーを押し下げ外す。(ワイパー電源の準備)



9. ワイパーの電源コードのカプラー（クリーム色）を外したカバーの穴から前へ通す。



10. 前の隙間からカプラーを



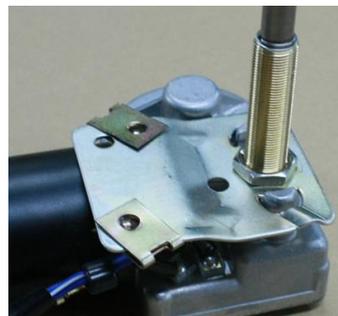
11. 赤と黒のコードを引っ張り出してタイヤハウス前へ通す



12. 左ポジションランプをタイヤハウス下から手を入れて引き抜き、黒と緑、赤と茶を繋いでランプを元に戻す。赤色ワンタッチカプラーは線を挟んでペンチなどで蓋をするだけ。



13. ワイパースイッチは直角アダプターでミラー根元に固定。ロックナットが回し易いようにワッシャー2枚使用する。



14. ワイパーモーター軸を画像の状態にして



ナットがずれている時は細いドライバーなどで調整する。

15. フロントカウルにモーターを取り付ける。



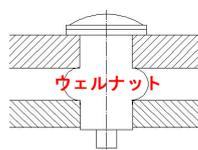
16. 付属カバーを付けてからコプラーを接続して



17. フロントカウル、スクリーンを被せ、穴を合わせてスクリーン上からウェルナットを挿し、軽く固定。(この時点では下の2本だけ)



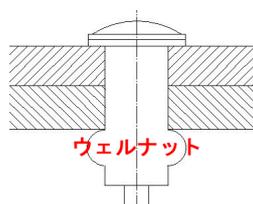
18. 図の状態で押し込むと、つばまで穴の中に入ってしまう、絞めることができなくなる。



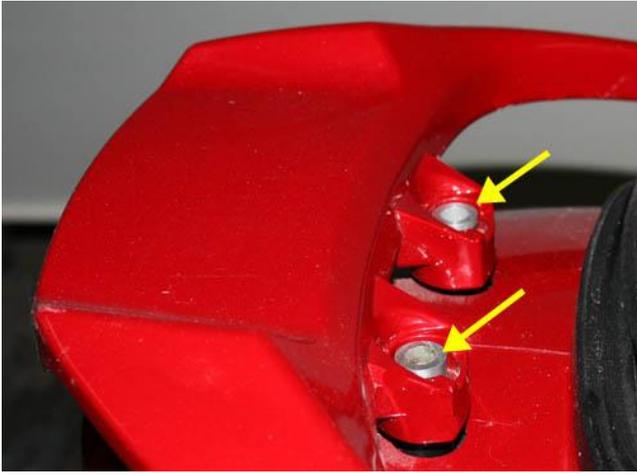
19. 締め付けるものに隙間があるとすき間でゴムが膨れて締め付けられない事がある。



20. ウェルナットを差し込む時は図の様にナットのつばとビスの頭が当たった状態でドライバーを使って回さず押し込む。



21. すき間が出来ないように押さえながら絞めていく。



22. タンデムグリップのボルトを抜いてアルミのスペーサーを置く。



24. 付属の長いボルト通して軽く固定。



25. トランクのゴムモールを少しめくってパイプ支柱ブラケットの穴に合わせてタンデムグリップを10mm穴加工の後ウェルナットで固定。



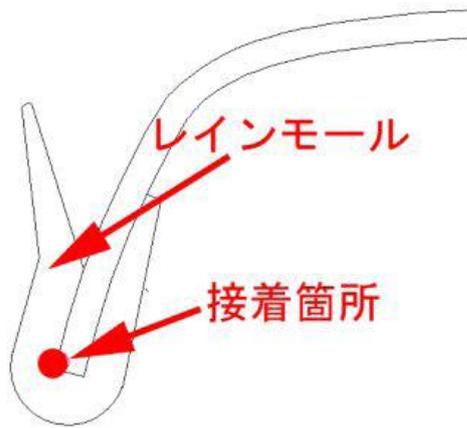
26. パイプ支柱をウェルナットで固定する。



27. ルーフを乗せてウェルナットで固定。スクリーンとルーフの固定はビスを全て通してから中央から締めてゆく。スクリーンが浮き気味の場合は押し付けた状態で締める。(漏れ防止の為)



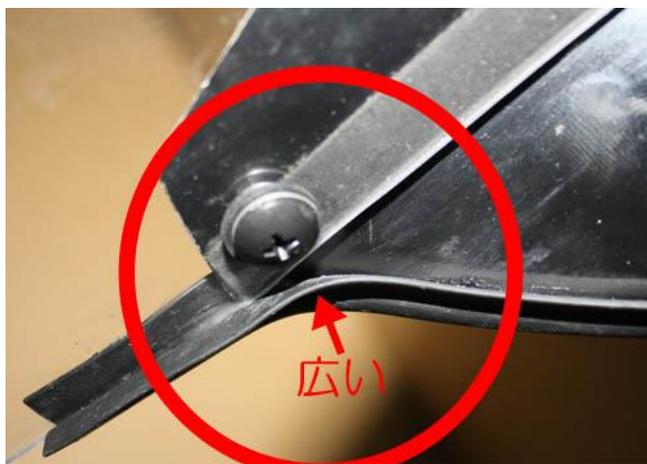
28. モールをめくって奥(下)へ15cm 間隔でごく微量点付。モールが波打たないように、注意。



29. レインモールは雨樋が外側になるよう取り付け
ける。



普通に接着していくと上のように雨どい溝が狭く
なり、雨水がすぐにオーバーフローし易くなる。



上のように溝が広がるように接着する。
場合によってはゴム裏側を上向きの力を加えて裏側
も接着する。



30. スクリーンとルーフの僅かな段差に、雨水が
その隙間から入り込み溝底を伝って、他の場所で漏
れるのを防ぐために充填剤を矢印位置につめる。

31. ワイパーモーターを定位置停止の状態にする。
メインスイッチを回してからモータースイッチを
ON、作動確認してモータースイッチ OFF その後メ
インスイッチ OFF。

《これでワイパーモーターは定位置停止(アクセルグ
リップ側)で停止した事になる》

定位置停止でない状態で、アームを固定し作動させると、
作動範囲外で動くためスクリーン、カウルを傷つ
けてしまうので要注意。



32. アームにブレードを付ける。最後に割りピン
をビスのピン穴に差し込み広げる。



33. ブレードがスクリーンの端（アクセルグリップ側）より5cmぐらいで固定。



34. 一旦シャフトにしっかりとハマり込むまで緩めてから締める。このボルトが緩むとアームがずれた位置で動き、スクリーンやカウルを傷つけることになるので、しっかりと締める。

ただし、メネジ側材質がアルミ系のため、なめやすいので締めすぎないように注意する



35. ハンドルめっき部分のスクリーンへの映り込み防止のためタイラップでカバーをつける。



※画像は他車流用

以上で取り付け終了です。